

平成31年度 第1回豊南地域会議 会議録

- 日 時 平成31年4月25日(木) 午後6時30分～午後8時30分
- 場 所 豊南交流館 1階 大会議室
- 出席者 <委員>市川 繁 奥村 学 片桐 弘 小山 光義  
鷹見 喜仲 瀧上 久 橘 寿一 西口 武彦  
林田 賢士 堀 恵子 松岡 ミネ子 三尾 良介  
宮川 尚子 山内 悟
- <欠席者>坂田 一浩 杉浦 百恵 土屋 恵稔 吉森 則雄
- <交流館>梶 いづみ (豊南交流館長)
- <事務局>後藤 哲也 (拳母事務所長)
- 岡本 裕之 (地域支援課 副課長)
- 梅村 剛 (地域支援課 担当長)
- 山岡 雅史 (防災対策課 担当長)
- 古田 祥久 (地域支援課 主査)
- 近藤 裕介 (地域支援課 主査)

■次 第

- 開 会
- 1 豊田市民の誓い唱和
  - 2 会長あいさつ
  - 3 拳母事務所長あいさつ
  - 4 新任委員自己紹介
  - 5 平成31年度 豊南地域会議の開催予定について
  - 6 わくわく事業の事前審査について
    - (1) 審査基準及び審査の流れについて
    - (2) 豊南地域わくわく事業 申請状況一覧
    - (3) わくわく事業 事前審査
  - 7 平成31年度 地域予算提案事業について
    - (1) 事業概要説明
    - (2) 実施スケジュール(案)
    - (3) 豊南地区の災害特性と災害への備えについて
      - ①講演
      - ②他の地域会議における防災の取組紹介
      - ③質疑応答
    - (4) 事業内容協議
  - 8 その他
- 閉 会

## ■議 事（要約）

### 5 平成31年度 豊南地域会議の開催予定について

- ・今年度の地域会議の開催予定について、事務局から説明

### 6 わくわく事業の事前審査について

#### (1) 審査基準及び審査の流れについて

- ・資料を基にわくわく事業の基準及び審査の流れについて説明
- ・豊南個別の地域ルールが変更になっている点について説明  
＜概要＞見積書の添付ルール【H31～廃止】⇒地域ルール なし

#### (2) 豊南地域わくわく事業 申請状況一覧

- ・資料を基に4月15日応募締切時点の申請状況について説明【事務局】

#### (3) わくわく事業 事前審査

- ・事前審査（申請資料の内容確認）について依頼【事務局】

### 7 平成31年度 地域予算提案事業について

#### (1) 事業概要説明

- ・資料を基に今年度の事業内容や協議事項について説明

#### ◆決定事項◆

- ・事業の検討を進めていくため、次回の会議までに、部会案を示す。
- ・笑劇派に劇の内容を考えてもらう上で、いつまでにどのような情報提供が必要か確認して次回の地域会議までに報告する。

#### ◆意見等◆

- ・昨年度、11回目の会議の後で各自治区の意見を集約した資料があるはずなので情報提供して欲しい。
- ・交通安全の取組について、みどり線のメンテナンスや掲示を依頼したポスターのケアなど継続して実施していく必要がある。
- ・交通安全劇の内容について、中学生向けの内容の検討が必要

#### (2) 実施スケジュール（案）

- ・資料を基に今年度の事業実施スケジュール案について説明

#### ◆決定事項◆

- ・スケジュールや実施内容について、引き続き地域会議の中で協議していく

#### ◆意見等◆

- ・防災については、各自治区で意見集約しているため、意見交換会には区長や自治区の役員を中心に集まってもらった方が実のある議論ができるのではないかと。その場合、実施時期は10月下旬～11月末頃が望ましい。
- ・「女性、子ども、高齢者、障がい者などの目線を踏まえた避難所運営」というのが地域の課題になっているため、そういった人たちの意見を直接聞いた方が良いとも考えられる。

- ・ふれあいまつりだけではなく、サマーフェスタ（8月最終日曜）にも人が多く集まるので、啓発の機会としても良いではないか。
- ・協議する事項が多く、わくわく事業の審査もあるため、月1回の地域会議では議論が進みづらいと感じる。部会を設置して月にもう1回集まって議論できる体制が取れると良いと思う。
- ・講習会を年度末（2月）に開催するのであれば、次年度の委員にも参加してもらえると良いと思う。

### （3）豊南地区の災害特性と災害への備えについて

#### ①講演

- ・「災害に強いまちを目指して」をテーマに講演を行った。【防災対策課 山岡担当長】

#### ②他の地域会議における防災の取組紹介

- ・資料を基に事務局から他の地域会議で実施している4地域（崇化館、朝日丘、梅坪台、浄水）の防災の取組について説明

#### ◆意見等◆

- ・他の地域で作成したマニュアルや地域会議だよりなどを参考にしたいので、情報提供して欲しい。

#### ③質疑応答

- ・避難所へ行くために山室橋及び水源橋を渡る必要があるが、想定される震度6弱に耐えられるのか。

⇒橋の耐震について、手元の資料では、不明のため別途回答する。

無理に指定避難所に避難するのではなく、安全に避難できるところに避難して欲しい。様々なケースを想定して、柔軟に対応出来るように周辺の避難場所を調べておくなどして欲しい。

- ・防災カルテに掲載されている地図では、細かい場所まで分からないがどこかで確認することができるのか。

⇒市ホームページの「とよた i マップ」から検索可能なので、確認して欲しい。

- ・震度6弱の地震が発生した場合のライフラインの被害想定はされているのか。

⇒市ホームページに被害予測の調査結果を掲載している（豊田市地域防災計画）ので、そこでも確認することができるが、該当箇所を抜粋して回答する。

- ・液状化などの被害予測される地域に対して市は対策をしているのか。

⇒すでに住宅が建っている場所も多く、抜本的な対策は取りづらい状況である。

土砂災害の被害予測も調査が進むにつれ、増えてきている状況である。

- ・昭和56年に耐震基準が改正されたと説明されたが、いつから杭を打つ必要が出てきたのか。

⇒手元の資料では不明なので、別途回答する。

- ・防災対策課の出前講座は、時間短縮して実施してもらえるか。

⇒要望があればできるが、十分な効果を得られなくなるので、おすすめしない。

- ・タンスの転倒防止など、対策が浸透しない、補助制度を設けてもらえないか。
- ⇒現時点で新たに補助制度を設ける予定はない。自助の部分に関しては、原則、自発的に取り組んでもらっている。

## 8 その他

### ◆決定事項◆

- ・終了予定時刻になったため、予定していた地域予算提案事業の内容協議については、次回の地域会議に持ち越しとする。
- ・次回の会議資料は、当日配布とする。

(終了)

<次回開催日>

令和元年5月9日(木) 午後6時30分から 豊南交流館